

# 岐阜大学の地域戦略体制

## 地域戦略会議

学 長

理事・副学長（企画・評価・基金担当）  
理事・副学長（教学・附属学校担当）  
理事・副学長（学術研究・情報担当）  
理事・副学長（国際・広報担当）  
理事・副学長（総務・財務担当）  
副学長（医学部附属病院長）  
副学長（多様性人材活力推進担当）  
副学長（産官学連携担当）  
監事

- ・「広報」機能も含め全学・部局をあげて大学の教育・研究・社会貢献すべての機能に渡る「地域戦略」を検討する。
- ・受験・入学から学修、卒業・就職・社会への輩出、その後の生涯学習・学び直しまでも含めた「地域戦略」を検討する。

地域、自治体、産業界からの意見

経営協議会

岐阜県・岐阜大学連携推進会議

岐阜大学・岐阜県・岐阜県産業経済振興センター連携会議

ぎふ技術革新センター運営協議会

協定金融機関との連絡協議会

その他外部との連携会議等

教育学部、地域科学部、医学部、工学部、応用生物科学部、附属病院、各センター

経営/マネジメント教育部門

教育推進・学生支援機構

<教育>

- ・大学教育の質の向上
- ・社会に求められる有為な人材を養成する機能の強化
- ・全学的教育、教養教育の推進及び学生への支援に関する企画・運営

地域協学センター

<社会貢献>

- ・地域の諸課題に取り組み、地域社会において存在感のある大学として、地域社会の活性化に貢献
- ・地域を志向した次世代人材の教育と輩出
- ・地域を志向した研究の推進
- ・地域との対話の促進

研究推進・社会連携機構

<研究>

- ・研究を俯瞰的に眺めてその方向を定め、各種の研究を支援し、個人及び研究グループの活動を推進
- ・研究成果を基に地域の産業を支える「産学連携」、人々の暮らしに関わる「地域連携」を推進

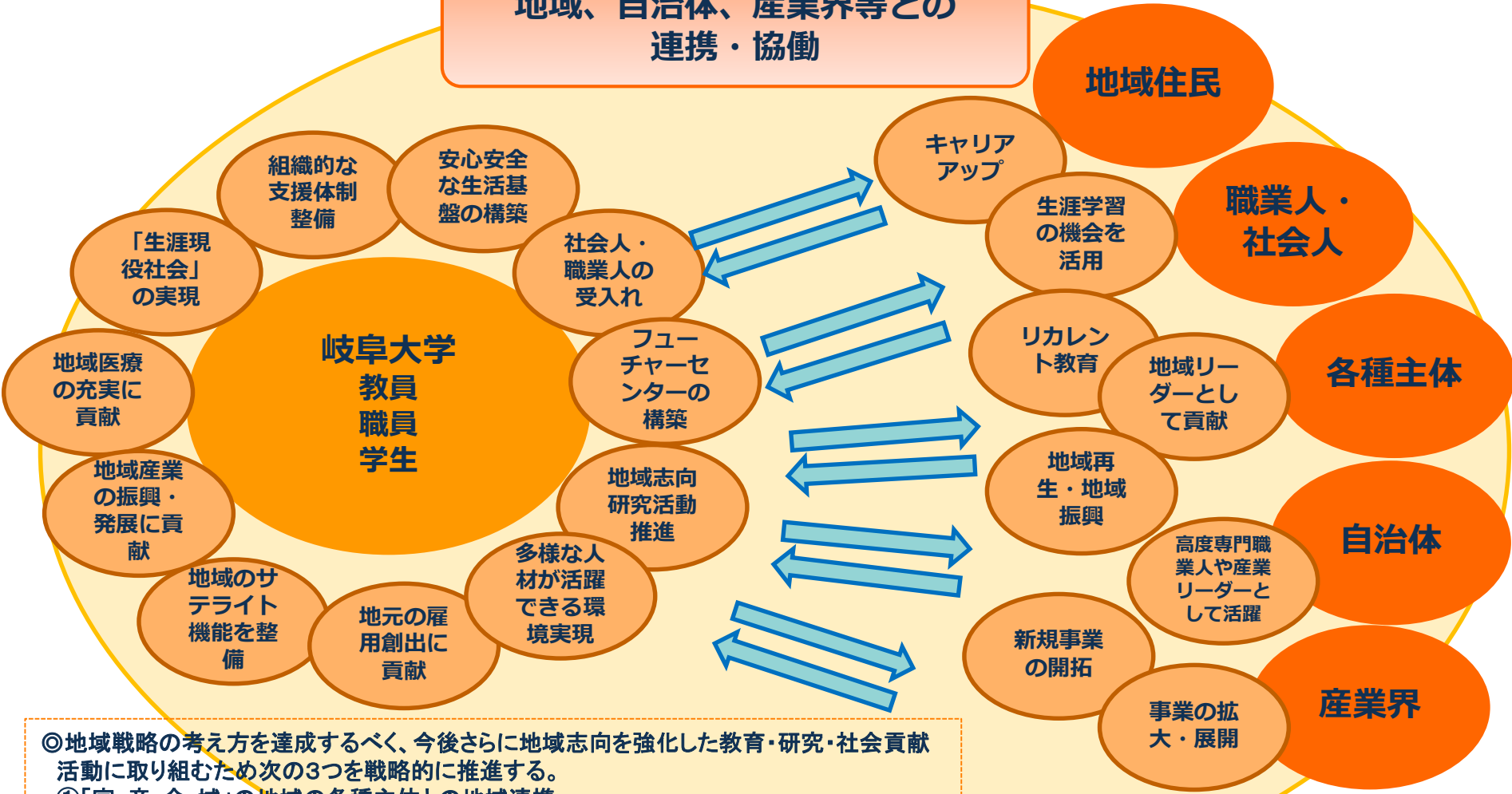
岐阜大学は、地域戦略の中核事業である大学COC事業及びCOC+事業を全学をあげて恒久的に展開し、大学と地域の連携・橋渡し機能及び全学のコーディネート機能を果たす地域協学センターが、継続的・発展的に組織的な地域戦略の「コントロールタワー」としての中心的な役割を担って事業を牽引する。岐阜大学は、将来的にCOC事業及びCOC+事業の成果を基盤として地域協学センターの機能強化・高度化を図り、地域協学センターが、「地域志向教育研究拠点」及び「地域創生・地域戦略の総合シンクタンク」としての機能を進化させた新たな地域創生の中核となる組織として、岐阜大学の地域戦略を担う。

事務組織 学術国際部社会連携課+学務部教務課・学生支援課

# 地域戦略に係る活動概念図

岐阜大学は、全構成員が地域戦略に係る考え方を共有し、地域と世界を結ぶ視野をもって、全学をあげて組織的に地域戦略を実践する。

地域、自治体、産業界等との  
連携・協働



◎地域戦略の考え方を達成するべく、今後さらに地域志向を強化した教育・研究・社会貢献活動に取り組むため次の3つを戦略的に推進する。

- ①「官・産・金・域」の地域の各種主体との地域連携
- ②教育・研究・社会貢献の大学機能全体に関わる地域連携
- ③学生の受験・入学(学生受入・入試)から学修(教育・人材育成)、卒業・就職(社会への輩出・雇用創出)、その後の生涯学習・学び直しまでを見据えた地域連携

○ : 活動